

G2B: 食品規制の領域を調査

2019年11月26日 火曜日



あなたは国の規制当局、政府間組織、または国境を越えた食品ビジネスに携っていますか？G2Bの概要と、これらのコミュニティ全体から現在の考え方や洞察にアクセスする方法を知りたいですか？

2019年のGFSI政府と企業(G2B)の会議は、この年次フォーラムでの私の最初の経験であり、2020年に開催されるGFSI会議はシアトルで開催されます。私は、グローバルな食品事業、各国の規制当局、政府間組織のオープン性、および彼らが視点や経験を共有する意欲に感銘を受けました。これらの一部は、議論のために選択されたトピックにまで及び、そのトピックは、局所的、国境を越え、食品の安全とビジネスの両方にとって重要です。しかし、これはまた、フォーラム自体のユニークな性質、およびフォーラムが引き付ける参加者によるものでもあります。

2020年、[英国食品基準局](#)は米国食品医薬品局およびGFSIとともに第5回G2B会議の組織委員会となるに参加します。私たちの目的の一部は、世界中の消費者にとって安全な食品を確保するという共通の使命の中で、私たちが直面している世界的な問題に対する議論の関連性を維持することです。また、提供し共有する洞察力を持つ人々を引き付け続けることを目指しています。2019 G2B会議では、アフリカ、南北アメリカ、アジア太平洋地域、ヨーロッパ、および近東にまたがる30か国以上から国の規制機関が集まりました。世界銀行やコーデックスアリメンタリウスを含む数十の政府間組織と、幅広い食品産業セクターの20以上のグローバル企業が参加しました。このブログでは、私たちのアジェンダ項目のいくつかを予想しています。そして2月にシアトルの会議に参加していただけることを願っています。

規制当局の問題に戻り、自主的な第三者保証プログラムからのデータを使用して、規制当局の監督に、例えば公式の統制検査の強度と頻度について通知します。食物連鎖全体からの信頼できるデータの使用は、ブロックチェーンやAIなどの技術の使用を通じて、食品の安全性を保証する最も革新的なアプローチのいくつかを支えています。新しい技術的応用がない場合でも、このデータにより、規制当局は、食

物連鎖のどこにリスクがあり、最も効果的かつ効率的な方法で消費者保護を提供するためにリソースを適用すべきかについて、より情報に基づいた判断を下すことができます。



2020年の焦点は、キャパシティビルディングと、自主的な第三者保証プログラムの使用から生じる可能性のある中小企業の市場アクセスです。私はこれらのプログラムによって生成されたデータの価値を国内の食品管理システムに認識し、一次生産、乳製品、動物飼料セクター全体で使用するという英国の革新の歴史を誇りに思っています。また、この慣行がより広く広がっており、アフリカとラテンアメリカ全体に世界貿易機関(WTO)の標準および貿易開発ファシリティによってサポートされているプロジェクトがあることも嬉しく思います。G2Bでのさまざまな国家情勢およびメイン会議中の自発的な第三者保証プログラムからのデータの使用に関する洞察を聞くことを楽しみにしています。地域や国の状況にかかわらず、規制コミュニティのすべての人が、このデータを活用して、国内の食品管理システムの目標をサポートする可能性があります。[コーデックス・アリメンタリウス・コミッション](#)(CAC)の見通しで国の規制当局によるこのデータの使用に関するいくつかのガイドラインについて2020年7月に合意することを期待していますが、これは非常に話題性が高く、G2BとGFSIの両方に関連しています。

このデータの規制当局による一貫した透明な使用には、自主的な第三者保証プログラムの所有者と国内規制当局との間のデータ共有を導くためのいくつかの原則が必要になります。これは、前回のG2Bで設定されたグループによるいくつかの素晴らしい準備作業の焦点で、シアトルでより広く議論するためのいくつかの原則と提案があることを希望します。

世界中の他の規制当局と話をするとき、私たちの心にしばしばあるもう1つのトピックはeコマースであり、この分野で消費者保護を保証する方法です。当局間および業界との共同作業がさまざまなフォーラムで進行中であり、来たるG2B会議は、すべての人を見直し、スピードアップするための優れたタイムリーな機会になるでしょう。この作業には、英国政府の同僚が食品ラベリングに関するCACで主導していることも含まれます。

また、オンラインで購入した食品をより効果的に規制して、消費者を食品の安全性リスクや虚偽の慣行から保護するための次の課題と機会を特定する必要性が高まっています。規制当局の観点からは、リスクからの保護、消費者の選択のサポート、ビジネスの成長と革新のサポートの間で適切なバランスをとることが重要です。



このブログは、次の人によって執筆および寄稿されました。

コーデックス・アリメンタリウス・コミッション

副議長

スティーブ・ウェアン